

# 大学院博士前期課程入学試験合否判定基準

## 1.一般・外国人留学生の学科試験

### (1)専門科目の出題・採点

出題者：第1指導希望教員

・採点者：原則として研究科運営委員1名および第1・第2指導希望教員の2名

採点：採点者1人100点満点で採点。3名の合計値(300点満点)を算出(A)

(採点にあたり、日本語筆記能力も加味する)

### (2)採点の基準

採点にあたっては、以下の点数範囲を目安とする

100～80点 合格の水準に十分達している。

60～79点 合格の水準に達している。

0～59点 合格の水準に達していない。

### (3)学科試験の合否基準

C=専門科目A

C(300点満点)の60%(180点)を学科試験による合否の目安とする。

## 2.社会人の学科試験

### (1)小論文・推薦書の採点

小論文の出題者:第1指導希望教員

採点者：原則として研究科運営委員1名および第1・第2指導希望教員の2名

採点：採点者1人100点満点で採点。3名の合計値(300点満点)を算出(A)

### (2)学科試験の合否基準

A(300点満点)の60%(180点)を小論文・推薦書による合否の目安とする。

### (3)採点の基準

採点にあたっては、以下の点数範囲を目安とする

100～80点 合格の水準に十分達している。

60～79点 合格の水準に達している。

0～59点 合格の水準に達していない。

### 3.面接試験

- (1)面接者:原則として研究科運営委員1名および第1・第2指導希望教員の2名  
(2)面接時間:1人30分  
(3)評価基準:面接者は面接、研究計画書および成績証明書に基づき、以下の基準で評価する。評価にあたっては、日本語の能力についても加味する。

- A 合格の水準に十分達している
- B 合格の水準にほぼ達している
- C どちらともいえない
- D 合格の水準にやや達していない
- E 合格の水準に全く達していない

(注)

合格水準:修士論文に向けて学修・研究活動を遂行できる知識・能力を有している